



平成27年10月23日

各 位

会社名 株式会社 小野 測 器  
代表者名 代表取締役社長 安井 哲夫  
(コード番号6858 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理本部長 濱田 仁  
(TEL. 045-476-9706)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成27年4月22日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,700	1,300	1,420	880	70.47
今回修正予想 (B)	13,000	700	870	480	38.75
増 減 額 (B-A)	▲700	▲600	▲550	▲400	—
増 減 率 ( % )	▲5.1	▲46.2	▲38.8	▲45.4	—
(ご 参 考) 前期実績 (平成26年12月期)	12,449	1,088	1,121	1,196	92.85

(注) 平成26年7月1日付で2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度(平成26年12月期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、前連結会計年度の1株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### 2. 業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間におきましては、第1四半期に業績が上振れしたことから、平成27年4月22日に第2四半期連結累計期間の業績予想および通期業績予想につきまして上方修正いたしました。しかしながら、4月～6月期において計測機器を中心に減速が見られ、また7月以降は特注試験装置について海外市場での減速感が強まったことなどにより、通期の売上高が未達成となる見込みとなりました。一方、費用面においては、製造原価の上昇に加え、今後の事業の成長性の確保のために、実験棟の新設と受託試験業務への取り組み、先行開発や特注試験装置分野での標準化・モジュール化開発の推進、海外市場での拡販のための現地法人強化などを行っておりますが、いずれもコストが先行しております。これらの結果、前回予想値に比して大幅な減益となる見込みであります。

今後につきましては、特注試験装置の受注残の確実な生産と、収益性の良い計測機器の拡販により、予想の達成に注力してまいります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上